

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子育て支援				
担当者氏名	昇 慶一				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育士による子育て支援の意義や基本的態度を理解した上で、ソーシャルワークの方法や技術を用いて、保護者及び子育て家庭の問題を見極め、問題解決に向けた支援を展開していく子育て支援の過程を学習する。
 具体的な事例分析や課題解決に向けたワークなどの演習に対して、主体的な参加が求められる。

《テキスト》

西村重稀・青井夕貴編『子育て支援 新・基本保育シリーズ ⑱』中央法規

《参考図書》

必要に応じて資料を配布する。

《授業の到達目標》

1. 保育士が行う保育の専門性を背景とした、保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。
2. 保育士が行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

《授業時間外学習》

児童福祉に関する代表的な社会資源としてどのようなものがあるかについて、他科目の復習等により自主的に学習しておくこと。
 中間試験では知識・理解を中心として出題を予定しているので、講義各回の復習に努めること。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度など）20%、 中間試験 40%、 期末試験 40%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	子育て支援とは	オリエンテーション、子どもの保育とともに行う保護者の支援
2	保護者との相互理解と信頼形成	保護者との相互理解と信頼形成の意義、バイステックの7原則
3	支援ニーズへの気づきと多面的理解	子育て支援の必要性、保護者や家庭のかかえるニーズへの気づきと多面的な理解
4	子ども及び保護者の状況・状態の把握	アセスメントの意義とジェノグラム
5	アセスメントと支援計画	ジェノグラムとアセスメントの設例演習
6	社会資源の活用と関係機関との連携（1）	社会資源の理解と活用の意義
7	社会資源の活用と関係機関との連携（2）	児童相談所の役割と保育士の連携
8	知識・理解の振り返りと支援の記録	子育て支援の基本的知識・理解の振り返り、支援記録の要点
9	職員間の連携・協働	職員間の連携・協働と模擬カンファレンス
10	支援の実際（1）	保育所等における支援
11	支援の実際（2）	地域の子育て家庭に対する支援
12	支援の実際（3）	要保護児童等の家庭に対する支援①；要保護児童等の家庭についての理解・課題分析
13	支援の実際（4）	要保護児童等の家庭に対する支援②；親子関係再構築に向けた支援
14	支援の実際（5）	障害のある子どもおよびその家庭に対する支援
15	まとめ	事例分析の振り返りとまとめ